

- 1 日時 令和 2 年 1 月 27 日 (月) 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで
- 2 会場 地域連携室 1
- 3 委員及び学校関係者

所属等	役職等	氏名
山口県立大学	副学長	田中 マキ子
防府市総務部	理事	石丸 泰三
防府市教育委員会	教育部長	林 慎一
防府市立桑山中学校	校長	田中 敬
防府商工会議所	女性部 会長	倉員 祥子
防府観光コンベンション協会	副会長	中司 達美
(株)丸久	人事能力開発部指導役	黒川 康生
同窓会 (鳳翔会)	同窓生	勝野井 幸子
防府商工高校	P T A 会長	伊達 拓也
	校長	小土井 実
	未来デザイン部 部長	中村 英哲

※松田委員、東委員、於土井委員は所用により欠席

【事務局】 全日制教頭 出水 定時制教頭 中司

4 概要

(1) 第 2 回学校運営協議会の概要

(2) 議事

ア 平成 31 年度の地域連携活動に関する報告

※委員からの意見等

- 課題研究のふるさとパワーアップ班の人気の秘密について知りたい。人気が高いようであれば、活動する人員を増やしてみてもどうか。
- 幸せます弁当やアスピラートで実施した写真展の詳細について知りたい。
- 自分が高校生だった頃を振り返ってみると、防府の街に出向いて活動するという機会はほとんど無かった。学校の外に出て、色々な人と一緒に活動することが、成長に繋がっていると感じる。
- 今後は、自分の生き方や働き方について根本的に考え直す必要がある。不要なものはそぎ落とし、自分なりの価値観を見つけることが大切である。
- 防府市外から通っている生徒が、防府に愛着を感じている。本校の教育活動が、生徒のシビック・プライドを醸成しているように感じる。
- ふるさとパワーアップ班の今年度の活動を次年度に継続させるという取組は面白いと思う。現在活動している 3 年生と、次年度に活動を引き継ぐ 2 年生が情報を共有し、活動の主旨や狙い等を理解する場があるとよいのではないかな。

イ 本校における「育てたい生徒像」に関する意見交換

※委員からの提言・意見等

- 提案されている育てたい生徒像は、他校でも通用する内容であるように感じる。防府商工高校ならではの「育てたい生徒像」を示してほしい。
- 機械科の説明にある「最後まで諦めずに」「人間的な視野を広げる」というキーワードは、育てたい生徒像をイメージしやすくしている。
- 検定試験中心の商業教育の脱却が必要である。多様な経験と内省が生徒を成長させ、社会から求められる「人間力」を高めることに繋がる。
- 大学においては、資格取得は学部での P R になりやすいことから重視する傾向が強い。
- 資格取得は働く上で必要となる要素の一つではあるが、取得することが目的にならない。
- 社会では、イレギュラーに対応できる課題解決力が求められる。
- 「やらない」理由を考えるのではなく、「やる」という思考を常に持ち続ける生徒を育てて欲しい。

ウ 平成 31 年度学校運営の評価について

※学校評価書の重点目標 (20 項目) について、4 段階で評価を実施

※評価結果は、本校 Web ページで公開する「平成 31 年度学校評価書」に掲載